

上下水道局

上水道課

課長 島崎 俊昭

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	老朽配水管改良事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	上水道会計
予算中事業名	老朽配水管改良工事

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～

主として中心市街地に残る老朽配水管は、被災時に被害を受ける可能性が高いばかりではなく、漏水や赤水の発生など、市民生活にも支障を及ぼす恐れがあるため、配水管の更新を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

老朽配水管改良事業

- 事業概要
老朽配水管(普通铸铁管:CIP)の改良工事をH28から耐震化事業などの他事業と並行し実施します。
- H29事業実績
(1) 実施設計業務委託(蟻ヶ崎4丁目)L=340m
(2) 推進工法に伴う土質調査業務委託(村井駅北:笹賀踏切)
(3) 大型店の出店に伴い交通規制対策のため、別事業の進捗を図った。
- H30事業実績
(1) 中心市街地の老朽配水管 L980m(女鳥羽、蟻ヶ崎)
(2) 実施設計業務委託(村井駅北:笹賀踏切)L=80m
- 普通铸铁管取替率(H30年度末現在)
74.6%(44,040m/59,000m)

<現状に対する認識>

住宅や商店が多数混在し、交通量の多い路線での工事とるため、広報活動などで沿線住民への周知を行い、他の道路占用者と協議を行いながら、計画的に改良工事を行う。

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつながるまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み		○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	老朽配水管の更新距離(m)				
指標の設定理由	老朽化した配水管の更新を進める				
目標値(km)	0	550	1,370	1,740	2,770
実績値	0	0	980		
達成度	#DIV/0!	0.0%	71.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	56,840		14,800		98,766					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	56,840		14,800		98,766					
② 人件費(千円)	23,070	人工	23,070	人工	23,070	人工		人工		人工
正規	23,070	3	23,070	3	23,070	3				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	79,910		37,870		121,836		0			
前年度比	—		47.4%		321.7%		—			

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	1140000
-----	-------	----	------	-----	---------

事務事業名	小水力発電事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	上水道会計
予算中事業名	小水力発電事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	411	新エネルギー活用の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
主な取組み		○省エネ推進と小水力やバイオマスなどの活用
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~

上下水道局では、低炭素社会の実現に向けた、環境負荷の軽減に取り組んでおり、水道施設の位置エネルギー(落差)を利用した小水力発電設備を寿配水地に設置し、固定価格買取制度による売電をH31年に開始するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 発電施設
(1) 利用水量 約0.146m ³ /s
(2) 水車 フランス水車
(3) 有効落差 松塩水道用水本山浄水場~寿配水地 約66.1m
(4) 管種口径 ダクタイル鋳鉄管、口径400mm
2 発電規模
(1) 発電出力 74kw(稼働率95%)
(2) 想定発電量 614,000kwh/年
(3) 売電費 20,800千円/年(税別)
(4) 温室効果ガス削減量 312t-CO ₂ /年
3 H30年度の実績
(1) 小水力発電設備設置工事(寿配水地)を公募型プロポーザル方式により業者を選定し、工事を実施
(2) 電力会社に接続検討申請、接続契約申請を実施
(3) 経済産業省に事業認定申請を実施
4 事業スケジュール
H30 工事
H31 電力会社と特定契約の締結、売電開始

<現状に対する認識>

松塩水道用水(松塩水道管理事務所)及び電力会社と協議し、発電事業を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業進捗率				
指標の設定理由					
目標値		2.5	99.4	100.0	
実績値		2.5	99.4		
達成度		100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		4,968		189,756		1,030			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源			4,968		189,756		1,030			
② 人件費(千円)	15,380	人工	22,770	人工	15,380	人工	7,690	人工		人工
正規	15,380	2	22,770	3	15,380	2	7,690	1		
嘱託	0	0	0		0		0			
合計コスト①+②	15,380		27,738		205,136		8,720			
前年度比	—		180.4%		739.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	水質検査事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	上水道会計
予算中事業名	水質検査事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
安全・安心でおいしい水を安定供給するため、計画に基づき水質検査を確実に実施する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 法定検査 常に安全で良質な水道水を供給するため、法令で定められた水質検査を行う。
2 放射能検査 次世代を担う子どもたちの安全を確認するため、水道水中の放射性物質の測定を継続して行う。
3 H30年度実績 全51項目を直営にて水質検査を実施し、計画通り完了した。 放射能検査は、6地区の浄水について毎月実施し、検出下限値以下を確認した。

水道水質基準項目全51項目を直営検査で実施 (1) 直営検査を充実し、水質検査の信頼性を恒久的に確保・維持する必要がある。 (2) 水道水中の放射性物質検査は、6地区(松本、四賀、梓川、波田、安曇、奈川)で、月1回実施している(異常なし)。
--

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	11400000
-----	-------	----	------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
松本版総合戦略			⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	直営検査項目数				
指標の設定理由	水道法に規定された水質項目について、直営検査の状況を確認できる指標のため				
目標値	47	47	51	51	51
実績値	47	47	51		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	放射性物質測定回数(年間)				
指標の設定理由	放射性物質の観測状況を確認できる指標のため				
目標値	12	12	12	12	12
実績値	12	12	12		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	7,059	7,675	3,156	3,446	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,059	7,675	3,156	3,446	
② 人件費(千円)	25,920	人工	25,920	人工	28,770
正規	23,070	3	23,070	3	23,070
嘱託	2,850	1	2,850	1	5,700
					2
合計コスト①+②	32,979	33,595	31,926		
前年度比	—	101.9%	95.0%		

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	1140000
-----	-------	----	------	-----	---------

事務事業名	老朽給水管取替事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	上水道会計
予算中事業名	老朽給水管取替事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
	主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化	
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<事業の狙い>

事業計画年度

H20 ~ H58

安全・安心でおいしい水を安定供給するため、老朽給水管を計画的に更新する。
また、老朽給水管の漏水を防止し、水道水を有効利用するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

老朽給水管取替事業
1 漏水調査に基づき、漏水量の多い配水区を中心に、老朽給水管約40,800 栓を取り替える。
2 H30年度実績
(1)直営 20栓
(2)委託 939栓
(3)工事 65栓(見込)
取替合計 1,024 栓

<現状に対する認識>

取り替えには多額の費用と期間を要するため、経営状況を見極めながら計画的に進める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	老朽給水管の取り替え栓数				
指標の設定理由	老朽給水管の漏水を防止する				
目標値	900	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	816	1,042	1,024		
達成度	90.7%	104.2%	102.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	120,000		150,000		180,000		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	120,000		150,000		180,000					
② 人件費(千円)	30,760	人工	30,360	人工	30,760	人工		人工		人工
正規	30,760	4	30,360	4	30,760	4				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	150,760		180,360		210,760		0			
前年度比	—		119.6%		116.9%		—			

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	1140000
-----	-------	----	------	-----	---------

事務事業名	集中監視制御設備更新事業
-------	--------------

<予算上の位置付け>

会計名	上水道会計
予算中事業名	集中監視制御設備更新事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
	主な取組み		○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
			⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

H21 ~ H30

水源地や配水地の水運用を行う集中監視制御システムについて、水道水の安定供給を行うため、全地区主要な施設の集中監視ができるように、システム及び設備の更新を行い、適正な維持管理と効率的な水運用を継続して行います。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 遠方監視制御設備更新事業(H24~H30)
 - 松本地区
 - 遠方監視制御設備更新 58カ所
 - 奈川地区(H28~H29)
 - 遠方監視制御設備更新
- 平成30年度実績
 - 松本地区 遠方監視制御設備更新完了(58/58)完了)

<現状に対する認識>

合併地区(波田・安曇)の遠方監視制御装置が未完了であるため、遠方監視制御装置を設置することにより、全6地区の水運用を一元管理し、水道水を安定供給を図る。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業進捗率				
指標の設定理由	適正な維持管理の実現に向けた事業の状況を確認できる指標のため				
目標値	62	70	100		
実績値	62	70	100		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	110,900		160,220		171,030		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	110,900		160,220		171,030					
② 人件費(千円)	15,380	人工	22,770	人工	15,380	人工		人工		人工
正規	15,380	2	22,770	3	15,380	2				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	126,280		182,990		186,410		0			
前年度比	—		144.9%		101.9%		—			

事務事業評価票

事務事業名	水道施設耐震化事業
-------	-----------

部局名	上下水道局	課名	上水道課	課CD	1140000
-----	-------	----	------	-----	---------

<予算上の位置付け>

会計名	上水道会計
予算中事業名	水道施設耐震化事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	335	水道水の安定供給
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
	主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化	
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備	
	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<事業の狙い>

事業計画年度

H25 ~ H35

大規模地震が発生した場合に備え、水道施設への被害を最小限に抑えるとともに、被災時に水道水が早期に供給できるよう、市街地の主要な水道施設について耐震化整備を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

第1次・第2次耐震化事業(松本地区)

- 基幹施設耐震化(水源地・配水地)
自己水源施設2カ所、配水地等15カ所の耐震化(島内第1、第2水源、城山、蟻ヶ崎、並柳第1、第2、藤井、寿、茶臼、岡田第2配水地、藤井減圧槽、神林、大久保、今井第1、第2、松原、妙義、)
- 基幹管路耐震化
配水本管及び重要送水管 L=7.0km
- 平成29年度実績
(1) 島内第1水源地、城山配水地、蟻ヶ崎配水地の耐震補強(3/17施設)
(2) 並柳第2配水地の配水池耐震補強着手(平成31年度完了予定)
(3) 中心市街地の配水本管 L=590m(蟻ヶ崎、沢村)
- 平成30年度実績
(1) 並柳第2配水地の配水池耐震補強(H30~R元)
(2) 中心市街地の配水本管 L=866m(宮淵、新橋、桐、旭)
- 松本市全体の耐震化率(30年度末現在)
(1) 配水池(容量) 42.1% (35,100m³/83,314m³)
(2) 基幹管路 37.1% (60,681m/163,447m)

<現状に対する認識>

災害に強い水道施設の整備を進めるため、既存施設の耐震性を調査し効率的かつ経済性を考慮し耐震化、延命化を進める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業進捗率(施設数)(%)				
指標の設定理由	主要配水地の耐震化状況が確認できる指標のため				
目標値	17.6	17.6	17.6	29.4	41.2
実績値	17.6	17.6	17.6		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	事業進捗率(延長)(%)				
指標の設定理由	基幹管路の耐震化状況が確認できる指標のため				
目標値	17.8	26.3	38.6	46.2	59.2
実績値	17.8	26.3	38.6		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	821,090		174,774		491,323		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	821,090		174,774		491,323					
② 人件費(千円)	46,140	人工	30,360	人工	38,450	人工		人工		人工
正規	46,140	6	30,360	4	38,450	5				
嘱託	0	0	0		0					
合計コスト①+②	867,230		205,134		529,773		0			
前年度比	—		23.7%		258.3%		—			

下水道課

課長 矢野 伸

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	下水道処理場長寿命化事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
松本版総合戦略	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

老朽化した設備の改築・更新を計画的に実施し、ライフラインを確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 長寿命化計画
浄化センター内施設を施設単位で老朽化、劣化度の判定を行い、ライフサイクルコストの最小化、費用の平準化を図りながら、施設の健全性を保持するもの。
- ストックマネジメント計画
H32より国の支援制度が長寿命化計画からストックマネジメント計画に移行するため、H29にストックマネジメント全体計画を策定し、全体事業費の見直しを実施した。H31に詳細調査を実施し、5カ年の第1期ストックマネジメント実施計画を策定予定。
- 事業実施内容
(1)宮渕浄化センター改築事業
低段水処理施設・汚泥処理施設・管理棟・ポンプ場機械電気設備改築
(2)両島浄化センター改築事業
中央監視設備・汚泥処理施設・管理棟・機械電気設備改築

<現状に対する認識>

老朽化した施設の改築更新は喫緊の課題であるが、経営状況から優先順位を決めて効率的に計画を実施している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	宮渕浄化センター改築事業費進捗率				
指標の設定理由	全ての機器に共通して数値化できるため				
目標値	35.7%	36.2%	38.5%	42.7%	50.5%
実績値	35.7%	36.2%	37.3%		
達成度	100.0%	100.0%	96.9%		
② 成果指標(指標名)	両島浄化センター改築事業費進捗率				
指標の設定理由	全ての機器に共通して数値化できるため				
目標値	3.9%	14.7%	28.3%	29.4%	29.6%
実績値	3.9%	14.7%	20.7%		
達成度	100.0%	100.0%	73.1%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	290,850		522,380		368,464		420,440			
国・県	157,450		270,000		200,042		227,577			
利用者負担金										
その他	115,700		229,100		138,000		173,500			
一般財源	17,700		23,280		30,422		19,363			
② 人件費(千円)	12,304	人工	12,144	人工	16,610	人工		人工		人工
正規	12,304	1.6	12,144	1.6	16,610	2.2				
嘱託										
合計コスト①+②	303,154		534,524		385,074		420,440			
前年度比	—		176.3%		72.0%		—			

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	下水道総合地震対策事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助・単独改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H20～

地震災害時に施設の被害を抑制し、ライフラインを確保するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 計画策定 H26に第2期松本市下水道総合地震対策計画(H27～H31)を策定
2 管渠 H27に管渠、H29にマンホールの耐震調査設計を行い、耐震化工事を実施
3 浄化センター ・宮渚浄化センター 管理棟耐震工事(H24～H26)を実施した。H30水処理施設の耐震設計を実施し、H31より工事着手予定。今後汚泥処理棟の耐震化に着手。 ・両島浄化センター 管理棟耐震工事(H30～H31)を行う。今後、汚泥処理棟耐震工事を実施 ・渚中継ポンプ場 耐震工事完了済 ・他の処理場は、今後耐震診断を実施予定。

<現状に対する認識>

・老朽施設の改築更新が優先であるが、あわせて耐震工事も実施していく。 ・下水道総合地震対策計画に基づき管渠の耐震工事を着実に実施していく。
--

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
	主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化	
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
	⑧	成熟型社会の都市基盤づくり	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	管渠施設の耐震化(整備延長37.1km)				
指標の設定理由	下水道総合地震対策計画によるもの				
目標値	4.8	4.9	5.5	6.2	7.3
実績値	4.8	5.3	5.5		
達成度	100.0%	108.2%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	浄化センター耐震化(総延床面積75,751㎡)				
指標の設定理由	下水道総合地震対策計画によるもの				
目標値	6,775	6,775	7,937	10,660	10,660
実績値	6,775	6,775	7,448		
達成度	100.0%	100.0%	93.8%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	141,390		94,380		83,142		283,556			
国・県	70,600		47,190		36,990		132,995			
利用者負担金										
その他	63,600		42,326		35,027		135,434			
一般財源	7,190		4,864		11,125		15,127			
② 人件費(千円)	8459	人工	8459	人工	12835	人工		人工		人工
正規	8,459	1.1	8,459	1.1	12,835	1.7				
嘱託										
合計コスト①+②	149,849		102,839		95,977		283,556			
前年度比	—		68.6%		93.3%		295.4%			

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	下水道管渠維持管理業務
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	管渠費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり	
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<事業の狙い>

事業計画年度

～

下水道法第3条により下水道管渠を適正に管理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

既設下水道管渠を維持管理

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	管路清掃延長(m)				
指標の設定理由	管路の閉塞を未然に防ぐため、過去の実績により設定				
目標値	9,580	9,580	9,580	9,580	9,580
実績値	11,183	13,434	10,139		
達成度	116.7%	140.2%	105.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	150,898		151,039		165,149		219,870			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	150,898		151,039		165,149		219,870			
② 人件費(千円)	46,140	人工	45,540	人工	40,700	人工		人工		人工
正規	46,140	6	45,540	6	37,750	5				
嘱託	0		0		2,950	1				
合計コスト①+②	197,038		196,579		205,849		219,870			
前年度比	—		99.8%		104.7%		—			

<現状に対する認識>

計画的な管路点検結果に基づき管路清掃を実施している。

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	管渠長寿命化事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業会計
予算中事業名	国庫補助・単独改良事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H21~

老朽化した管渠を計画的に改築するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

布設後30年以上経過した下水道管渠を対象とした、劣化度調査に基づく長寿命化計画により、管渠を改築
H32より国の支援制度が長寿命化計画からストックマネジメント計画に移行

<現状に対する認識>

国の交付金を取り入れ長寿命化計画に基づき実施している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	改築工事延長(km)				
指標の設定理由	長寿命化計画によるもの				
目標値	14.0	16.1	17.5	19.0	21.0
実績値	13.1	15.8	17.4		
達成度	93.6%	98.1%	99.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	71,960		314,725		481,175		340,780			
国・県	35,980		157,362		210,123		135,708			
利用者負担金										
その他	32,300		141,365		243,946		184,564			
一般財源	3,680		15,998		27,106		20,508			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	12,080	人工		人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	12,080	1.6				
嘱託	0		0		0					
合計コスト①+②	79,650		322,315		493,255		340,780			
前年度比	—		404.7%		153.0%		—			

事務事業評価票

部局名	上下水道局	課名	下水道課	課CD	11450000
-----	-------	----	------	-----	----------

事務事業名	水質監視業務
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	336	下水道の適正な維持管理
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
主な取組み			○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化
5つの重点目標	4	4	暮しと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	下水道事業
予算中事業名	水質規制費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

下水道施設の適正な維持管理及び浄化センターからの良好な放流水の水質維持を目的として、下水道における適切な水質管理を行うため、水質監視を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業場排水の水質監視 事業場下水排水を下水道排除基準に適合させるための、監視と指導
2 主要幹線の水質監視 継続して主要幹線の水質を監視 異常が確認された場合、排出源特定のための調査と排出源への指導 また、浄化センターの水処理、汚泥処理の対策検討
3 浄化センターの水質管理 日常の水質検査結果を受けた、水処理、汚泥処理等運転管理の検討
平成30年度 事業場排水の水質監視 延べ検査項目数 998 項目 うち延べ違反項目数 9 項目 延べ立入検査件数 139 件
平成30年度 幹線水質検査 12 回

<現状に対する認識>

事業場からの下水道排除基準に対する延べ違反項目数は、H29年度の11項目に対しH30年度は9項目に減少、適合率はやや向上した。同一事業場において再度基準超過をすることがあるため、重点的に監視を継続し、啓発していく必要がある。
また、主要幹線水質検査により異常値と考えられるケースについて、今後も充実した追跡調査の体制づくりを継続していく必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	排除基準適合率(%)				
指標の設定理由	事業場における適正な排除基準の確保				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	98.3	99.0	99.1		
達成度	98.3%	99.0%	99.1%		
② 成果指標(指標名)	幹線水質検査(回/年)				
指標の設定理由	処理場流入水の良好な水質を確保するため				
目標値	12	12	12	12	12
実績値	12	12	12		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	21,650		21,384		21,640		23,230			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	21,650		21,384		21,640		23,230			
② 人件費(千円)	41,300	人工	40,840	人工	40,700	人工		人工		人工
正規	38,450	5	37,950	5	37,750	5				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	62,950		62,224		62,340		23,230			
前年度比	—		98.8%		100.2%		—			